

【配点】 ①・②・③ 各2点×20 ④・⑤ 各4点×15

1				
5	4	3	2	1
酒	美化	幸福	結ぶ	水深
10	9	8	7	6
うみべ	そうだん	ぎよぎよう	ようもう	着席

2				
1	2	3	4	5
オ	サ	ア	シ	キ

3				
1	2	3	4	5
ア	ウ	エ	オ	ア

4						
7	6	5	4	3	2	1
⑨ エ	I お母さん	4・7	目	あとのらんに書きなさい。	A イ B ア C ウ	心配
⑩ イ	II 入院	(5 順不同・完答)			(2 完答)	
(7 完答)						
(6 完答)						

5						
6	5	4	3	2	1	
⑤ ウ	I エ	あとのらんに書きなさい。	I 初物	A イ	II	I
リ	II イ		II 手間	B ア	の	の
⑥ ナス	III ウ			C ウ	を	を
(6 完答)		(5 完答)		(2 完答)		
					並べた	並べた

4		
3	2	1
産む	赤ちやん	を
ため		
を		
(3 同意可)		

5					
4					
ら	菜	る	転	い	畑
だ	庶民	が	く	に	行
た	の	て	で	け	ば
か	野	い	も		
(4 同意可)					

1 (漢字の書き取り)  
 1 「水深」は「水面から水底までの深さ」である。漢字はことばの意味と結びつけて覚えよう。2 「結」は「いとへん」を続け字にせずに一画ずついていねいに書いてほしい。3 「幸」は横棒の本数に、「福」はしめすへんをころもへんにしてしまわなように気をつけよう。4 「美化」は「美しくする」という意味である。5 の「酒」の「酉」を「西」としないように気をつけよう。6 「席」は「廿」を「甘」としないように気をつけよう。7 「羊毛」は「羊からとった毛」であり、毛糸や毛織物の原料にする。8 「漁」には音読みが「ギョ」「リョウ」のふたつあるので熟語で覚えよう。9 は書き取りで出題されたときも「相」を「想」としないように、同じ読みを持つ漢字に気をつけて覚えよう。10 「海辺」は「海岸」のことである。

2 (国語辞典の使い方)

1 は一文字目が「い」で、二文字目が「え」に近いものをさがす。2 は一文字目が「ま」で、二文字目が「い」に近いものをさがす。3 は一文字目が「じ」で、二文字目が「め」に近いものをさがす。4 は一文字目が「き」で、二文字目が「ず」に近いものをさがす。5 は一文字目が「こ」で、二文字目が「こ」に近いものをさがす。

3 (主語)

ふつう文末にあり、文をしめくくる働きをする述語に対して、「だれが」「なにが」をあらわすことばが主語である。1 は「なにがうちよせるのか？」と考える。2 は「なにが立っていたのか？」と考える。3 は「なにが黄色いのか？」と考えると「指の」と答えてしまいそうになるが、「指の」は何の「先」なのかを説明している修飾語である。4 は「なにがやってくるのか？」と考えれば「日が」となる。「来る」に対する主語である「だれかが」を答えないように気をつけよう。5 はことばの順番が入れ替えられているので、ふつうの順番に戻して考えよう。

4

1 お母さんのすがたが見あたらなくて不安を感じているので、似た意味のことばをさがす。  
 2 ウは「お父さんをもう一度揺らして」なので本文三行目の「お父さんの腕をく揺すった」よりも後ろにはいることがわかる。アとイは「布団にもぐり込んで」から「布団を飛び出」すという流れになることが予想できる。また B の直後で「タンスの引き出しから服を取り出して」いるため、ここにイの「布団にもぐり込んで」を入れると意味が通じない。  
 3 線②の付近からお母さんがなぜ入院しているのかは読み取れない。しかし本文を読み進めていくと、最後の病室の場面で「赤ちゃんを抱いている」とあり、出産のために入院したということがわかる。

4 「ここより前の部分から」という条件に注意しよう。直後に「お父さん」の発言が続くため「口」を入れたくなるが、三行前でも「お父さん」は発言しているため、ここに「口」を入れると「ようやく」と合わない。三行前の「お父さん」の発言の直前に「お父さんは目をつぶったまま」とあり、③の場面で初めて目を開けたのだとわかる。急いでいる「ボク」に対してゆっくりしている「お父さん」の様子をイメージしよう。

5 「お母さん」は今この場面にいないため、(4)には「お父さん」がはいる。(5)は(4)の「お父さん」と比べているため「お母さん」がはいる。(6)にははいる人物とちがって牛乳ではなくジュースを出してくれ、卵とブロッコリーを出さないことを理由に「(7)のこと少し好きだと思っ」ているため、(6)には「お母さん」(7)には「お父さん」がはいる。ひとつずついていねいに考えて答えを出そう。

6 「かよちゃん」がお熱を出してくれたおかげで病院に行けることになり、予定より早く「お母さん」に会えることになったのである。

7 ⑨はプラスの内容、⑩はマイナスの内容を選ぶ。「嬉しい」は「お母さん」に対する心配が解消されたことによるものだからウはふさわしくない。アは本文中からはまったく読み取れない。

5

1 「終わりの七字」を答えることに気をつけよう。——線①の次の段落冒頭に「この由来には諸説があります」とあり、ここから由来が紹介されている。この直後に「一説には」とあり一つ目の説が述べられている。その次の段落に「また」とあり、二つ目の説が述べられている。「また」や「説もあります」といった目印に注目しよう。

2 Aには直前の「徳川家康が好きだったもの」を「富士山と、鷹狩りの鷹、そしてなすび」と言い換えているため「つまり」がはいる。Bの前では「高く売れた」というプラスの内容、Bの前では「早く育てるのは大変」というマイナスの内容が述べられているため、Bには逆接の「しかし」がはいる。Cには直後に「ついには」とあり、話が次の段階へ移っていることがわかるため「そして」がはいる。

3 ナスの値段が高くなる理由は、Cの二行後で「それだけ手間をかけていけば当然、値段は高くなります」とまとめられており、(II)にははいることばは「手間」だとわかる。(I)は◎の文のことばを手がかりにして本文をたどっていく。——線②の次の行に「早く収穫した初物が高く売れた」とある。

4 線③を含む一文を見ると「そのため」から始まっているため、直前を使えばよいとわかる。文末に注意してまとめよう。

5 線④の三行前に「現在では、どうでしょう」とある。ここから——線④までと◎の文を照らし合わせて考えよう。(I)には「ウリの仲間」に続くため、ここには「ウリ」ははいる。

6 直後の一文や、本文に出てきた「瓜の蔓に茄子はならぬ」ということわざから考える。本文二段落目にもあったようにナスの方がウリよりもすぐれたものとして扱われているため、(6)に「ナス」、(5)に「ウリ」がはいる。「ここよりあとの部分から」という条件があるため「茄子」と答えてはいけない。

以上